

セグエ競技規定

1. 出場資格

下記の3大選手権大会の、決勝入賞者及び準決勝2回以上の入賞組で各広域連盟登録選手とする。

2019年度全日本選抜選手権（総合成績）

2019年度日本インターナショナル選手権大会

2019年度JBDFプロフェッショナル選手権大会

資格を取得した時と異なるパートナーとは、出場は出来ない。

出場者は【タイトル】【写真】【踊り内容資料】【振付者】を提出すること。

宗教的題材、人道的に悪影響するものを使用してはいけない。

※ テーマ及び写真は1月末日までに、

(公財)日本ボールルームダンス連盟本部事務局スーパージャパン実行委員会宛に提出

写真は通常のアクション写真でよい。

踊り内容資料は、抽選日までに提出する。

2. ダンス種目

スタンダード・ラテンアメリカン共5種目中3種目以上で構成する。

他のダンスからのエレメントも、振付けを豊かにし完成させるために利用することはできるが、選択した競技ダンス種目に関しては、演技全体の70%をカバーしなければならない。1種目として認められるのは、連続して8小節以上とする。(3拍または4拍を1小節として)

3. 音楽

曲の長さは2分45秒から3分30秒までとする。※但し、演奏機材の誤差(1秒程度)は許されるが、作成時点で厳密にチェックすること。(制限時間の違反は失格対象となるので注意)

音楽は、CDに収め、2枚用意して2月18日(木)抽選日までに必ず提出する。

競技会当日は、オープンリールに収録して演奏される。

音楽は審査員がはっきり認識できるように演技する。

また、退場時に音楽を使う事ができる。

4. ホールド

スタンダード部門では、最低以下のホールドを必要とする。

- (1) 男性は左手で女性の右手をホールドする。
- (2) 男性は右手を女性の背中に置く。(腰、肘までは可。)
- (3) 女性を左回りにも右回りにも回すことも可能。

ホールドのディヴィエーション(ホールドを外すこと)は1回につき20秒間まで認められる。演技の間ディヴィエーションが可能な最大回数は4回までとする。

通常の音楽構成により、ホールドするまでに20秒間の時間が認められる。

演技の終了時もこれが適用され、それによってカップルは終了前に20秒間ホールドを解くことができる。

5. リフト

演技全体で3回のリフトが認められる。リフトが行われる場合には、規定4も全面的に適用される。

※ リフトもディヴィエーションであることをよく認識し、規定4の(1)、(2)を充たさなければ全面的に適用されます。

※ 原則としてパートナーを利用して2秒以上フロアーから離れた場合はリフトとみなす。

6. 小道具およびドレス

入場、演技、退場時中小道具は一切使用してはならない。男性と女性のドレスの選択は演技のテーマに合いテーマを補足するものとするのが可能であるが、ボールルームスタイルまたはラテンスタイルでなければならない。

男女つながった衣装は禁止とする。

衣装の一部を外して、地面に落ちない演出は一度のみ可能。その衣装を元に戻すことはできない。また身体に他の部位につけることもできない。手に持つことは可能。

また衣装を身体から離さないければ自由に使える。衣装を手に持って巻きつくことや、ジャケットを肩から脱いで、それを相手に働きかける事も可能。

※ 小道具は一切使用出来ない。

※ ダンスシューズも通常の競技会で使用しているものを使用する。但し、デコレーションは可能とする。

※ 特殊メイクは禁止とする。

7. リハーサル

2021年3月5日(金) 12時よりラテンアメリカン、13時30分よりスタンダードのリハーサルを行う。出場選手、規定審査員(チェッカー)、照明担当、音楽担当及び全国審査本部役員が出席する。特別な事情を除き、リハーサル欠場の演技者は本選欠場とみなされる。

※ リハーサルは本番と同じに行なうこと。入退場も必ず行い、省略しない事。

但し、ヘアとメイクに関しては省略しても良い。

8. 入退場

フロアーに入るまでの入場は、全選手同一音楽とする。また、壇上の左右どちらからでも入場でき、男女が左右からも入場できる。

(注、ステージのセットの仕方で若干違う場合がある。)

入退場は合計50秒。入場と退場に時間配分は自由。

審査及び規定は、演技内容に適用される。

尚、ビデオチェックを導入することを予定しているため、2021年2月28日までに希望する者は作品のビデオを提出すれば、公式リハーサルの前にセグエ規定審査員の指導を受ける事が出来る。

9. 照明

照明の要望は出来ない。しかし照明担当者の判断で最良の状態になるよう考慮する。

選手は衣装の色、小節数、秒数を抽選日までに連絡する。

10. デモンストレーション

優勝者には、セグエのデモンストレーションが義務づけられる。

11. 抽選方法

演技の順番は、2021年2月18日(木)午前10時、日本ダンス会館地下会議室に於いてくじ引き抽選により決定する。(出席できない場合は代理人を出席させる。)

抽選は、前年度1位～3位(後半に入る)を除き一律に行われる。

12. 審査システム

審査員は、通常競技会の審査方法である複数のカップルを比較することによる相対的な審査方式ではなく、セグエ選手権においては1カップルずつを絶対評価により採点される。

技術点審査員9名と芸術点審査員9名で行う。5.0点から6.0点の間で採点する。

(2組まで同点をつけることが出来る)技術点、芸術点それぞれ最高点1人分と最低点1人分をカットしたものを合計した点数の高い組から上位とされる。合計点が同点の組に関しては、スケーティングシステムで順位を決定する。

13. セグエ規定審査員の審査(規定チェッカー)

セグエ規定審査員が、セグエ選手権においてセグエ競技規定に違反した演技を確認した場合は、違反行為1項目につき合計点から1点減点される。また、作為的・悪質な違反には、審査員長と協議のうえ失格となる場合がある。

セグエ規定審査員は、リハーサルでの結果を、審査員会議開始前までに審査員長に報告しなければならない。

1 4. 公表

技術点・芸術点の採点結果は、全ての演技の終了後に公表する。

1 5. Adjudicator Review Meeting

セグエ競技を担当した審査員は、全ての競技終了後に開催される「Adjudicator Review Meeting」に参加しなければならない。但し、外部招聘審査員に感想文の作成依頼を行い後日に発行される「ダンスマイライフ」と「ダンサーズ」に記載される。
なお、大会進行の都合上行われぬ場合もある。

1 6. その他

上記規制で判断できない場合は、自分で判断せず下記の委員会まで問合せの事とする。

(公益) 日本ボールルームダンス連盟
2021 スーパージャパンカップ実行委員会